



つとむ通信

TSUTOMU NEWS

2024年 特別号

自民党栃木県第4選挙区支部長/衆議院議員

佐藤 勉 (さとう つとむ)

昭和27年6月20日生まれ(72歳)。34歳、県議会議員初当選。44歳、県議3期目任期中に衆議院選挙に出馬し、初当選。以降、衆議院選挙9期連続当選し、現在に至る。

【略歴】自由民主党総務会長、衆議院憲法審査会長、衆議院国家基本政策委員長、衆議院議院運営委員長、衆議院国会対策委員長、総務大臣、国家公安委員会委員長等を歴任。

【趣味】ゴルフ・映画鑑賞。

石破茂 新総裁誕生

9月27日の自民党総裁選で、高市候補との決選投票をへて、石破 茂 衆議院議員が選ばれました。派閥の力学により、これまで涙をのみ続けた石破さんが選ばれたことは、党员の方々、われわれ党所属国会議員が、古い自民党を脱却するという決意を示したものと考えています。

私は告示以降、盟友である菅義偉 元総理と緊密に連携しながら、小泉さんの勝利に向けて活動して参りましたが、最後は石破さんの経験値の部分で軍配があがったと感じています。小泉さんはまだ若く、今回の経験を糧に、さらなる活躍を期待しています。

苦勞の人 石破 新総裁は国民の痛みに寄り添える方だと思います。そうした方だからこそ新しい自民党像を作りあげていただけると信じています。

派閥なき総裁選

8月中旬に岸田総理が自民党総裁選への不出馬を表明して以降、立候補を目指す方々が続々と現れ、最終的に9名の議員が立候補しました。1972年に20名の推薦人を必要とする仕組みが導入されて以降、過去最多となりました。*これまでの最多は5名

麻生派以外の派閥が解散をしたことで立候補のハードルが下がり、候補者が多くなりすぎたことで誰に投票すればよいかわからなくなったという意見もありました。

しかし、自民党に将来の日本を担う人材が豊富であることを国民に見ていただき、活発な議論が行われたことは、古い自民党から脱却するための第一歩として前向きにとらえています。

また、派閥の縛りがとかれた議員が自らの意思で支持を決めやすくなったことで、総裁選の閉鎖的なイメージが開放的になったと感じています。その結果、党员票の重要性が増したことも評価できる点と考えます。

とはいえ、『派閥の政治資金事件』をはじめ、国民の期待を裏切ってしまった自民党の信頼回復への道は平坦ではありません。最後まであきらめないリーダー 石破 新総裁とともに、私も次世代へつなげるよう最大限努力します。



国へ 未来へ 次世代へ つなぐ。

R6年 9月末作成

次世代につなぐ

私は来年で衆議院比例代表の定年となる73歳を迎えるため、前回の選挙以降、次世代へのお譲りを本気で考えました。しかしながら、派閥の政治資金事件を筆頭にとても後進に譲れるような状況になく、今にいたります。

解散時期は石破 新総裁の判断となりますが、国会論戦後に信を問うと明言されているため、この状況で後進に譲るのは『逃げに等しい』と判断しました。

国へ、未来へ、次世代へ つなぎます



次世代へつなぐ

衆議院議員 小泉進次郎

衆議院議員 さとう 勉

さとう勉事務所

ご意見・ご質問は、こちらへ → g02103@shugiin.go.jp

Web や SNS でも
情報発信しています



ホームページ



Instagram



Facebook

小山
事務所

TEL : 0285-25-7878
FAX : 0285-25-7900
〒323-0014
栃木県小山市喜沢 84

真岡
事務所

TEL : 0285-83-7788
FAX : 0285-83-7786
〒321-4305
栃木県真岡市荒町 3-45-7
コスモシティ101号室



国へ 未来へ 次世代へ つなぐ。

討議資料